

ノーリツ、現代シニアの家事参加に関する実態調査 低い男性シニアの家事参加率 習慣と経験の乏しさ影響 男女ともに最も関心の高い家事に「料理」。男性は独り身への不安も

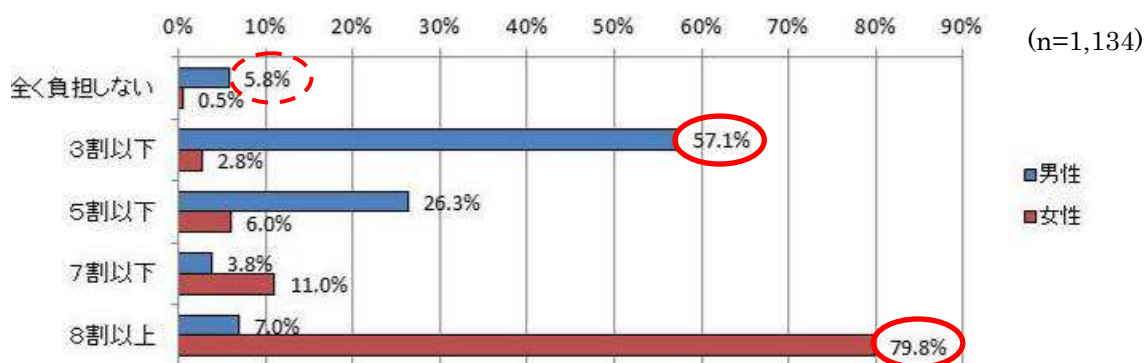
湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、全国の当社製品ユーザーを対象に、ライフスタイルが大きく変化し始めているシニア世代において男女の家事参加に関して実態調査をおこないました。有効回答数は 1,352 人、対象は 50 代以上の男女です。

《調査の結果ハイライト》

■家事分担 3 割以下の男性が 60%以上。主な理由は長年の“習慣”以外に“経験の乏しさ”も？

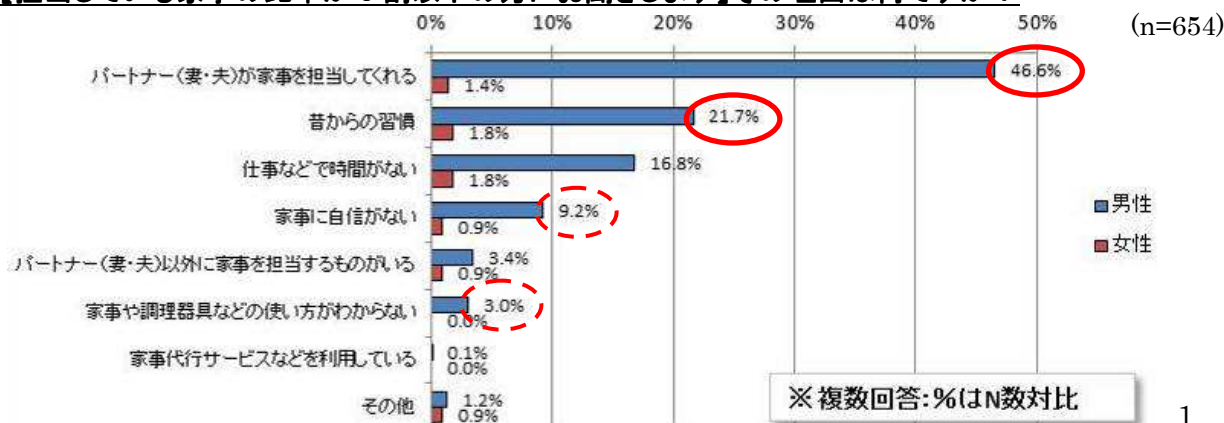
現在家庭内で分担している家事の割合について、自分の担当する家事は全体の「3 割以下」と答えた男性は約 62.9%、「半数以下」と回答した男性は 89.2%となり、男性シニアの家事参加率の低さが明らかになりました。それに対し、家事の 8 割以上を自分が担当していると回答した女性は 79.8%となり、家事の多くを女性が担当している現状も明らかになりました。

・あなたの家事負担の割合はどの程度ですか？



男性の家事負担が 3 割以下と答えた方にその理由を質問したところ、「パートナーが家事を担当してくれている」(46.6%)、「昔からの習慣」(21.7%)が多くの割合を占め、専業主婦世帯が多かった現代のシニア層にとって、リタイア後もその家事分担の影響が反映している状況が見受けられました。他にも「仕事などで時間がない」(16.8%)に続き、「家事に自信がない」(9.2%)、「家事や調理器具の使い方がわからない」(3.0%)という理由もあげられ、家事の経験が浅い、または自信がないという理由から参加に至らないケースがあることもわかりました。

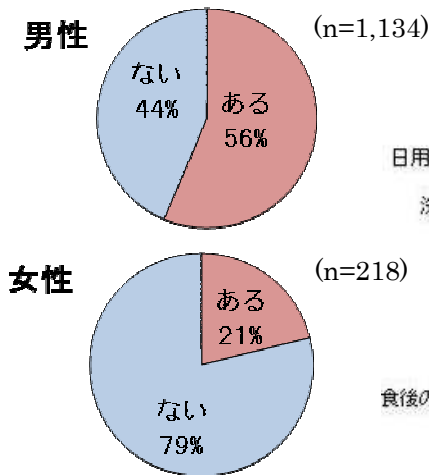
・【担当している家事の比率が 3 割以下の方にお聞きます】その理由は何ですか？



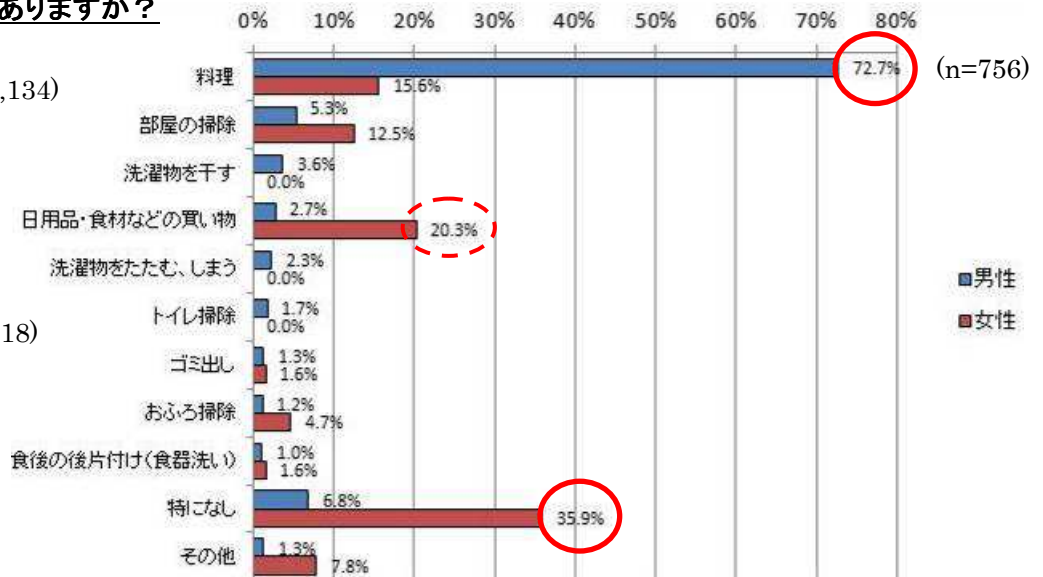
■“独り身”になった場合、家事に不安ありの男性が半数以上！最も不安な家事は「料理」

現在パートナーがいる方で、もし自分が独り身になった場合、家事に対しての不安があると答えた男性は56%に対し、女性は21%でした。また、独り身になった場合に最も不安な家事は何かという質問に対し、男性は「料理」が72.7%と最も多く、女性は「特になし」(35.9%)がトップで、「日用品・食材などの買い物」(20.3%)が続きました。男性にとっては食事に対する不安が顕著に表れ、女性は買い物など体力的なサポートへの不安があげられました。

・もし、あなたが独り身になった場合、家事に対しての不安はありますか？



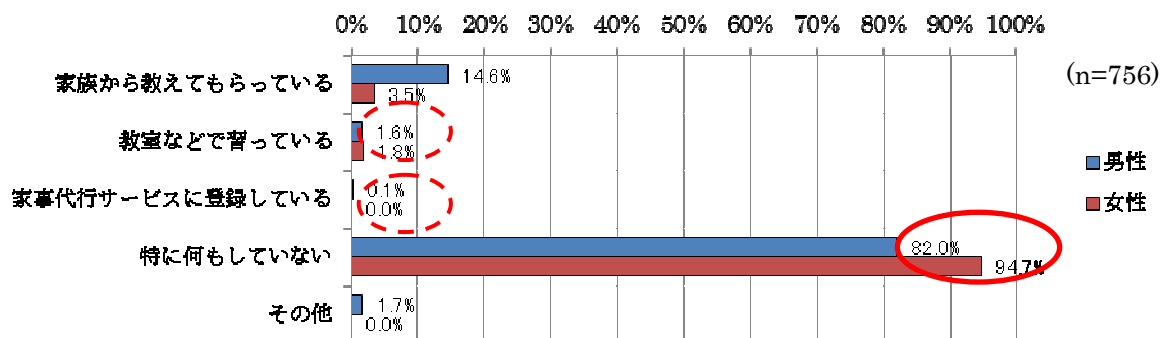
・【はいの方に質問します】不安な家事は何ですか？



■料理教室、家事代行など外部サービスの利用には消極的な一面も。

独り身になった場合の対策としては、男女ともに「特に何もしていない」が全体の8割以上となり、不安に対する対策は特に講じられていない実態も明らかになりました。一方で「家族から教えてもらっている」男性が約15.0%いるほかに、「教室などで習っている」、「家事代行サービスに登録している」方は2%未満であり、外部サービスを利用するなど、独り身になった場合の対策を事前に備えることには消極的な一面も明らかになりました。

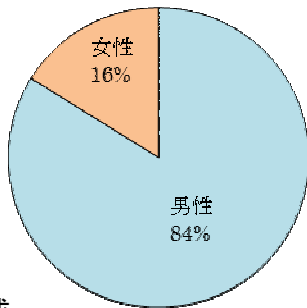
・【はいの方に質問します】そのための対策は何か実行していますか？



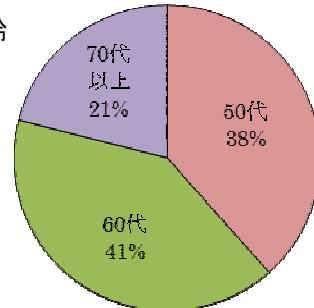
調査概要

- 調査目的: 現代シニアの家事参加の現状について調査をする。
- 調査方法: WEBアンケート
- 調査対象: ノーリツインターネットサイト「CLUB NORITZ(クラブノーリツ)」会員
- 回答者の構成: (n=1,352) ● 調査エリア: 全国 ● 調査期間: 2016年5月13日～5月15日

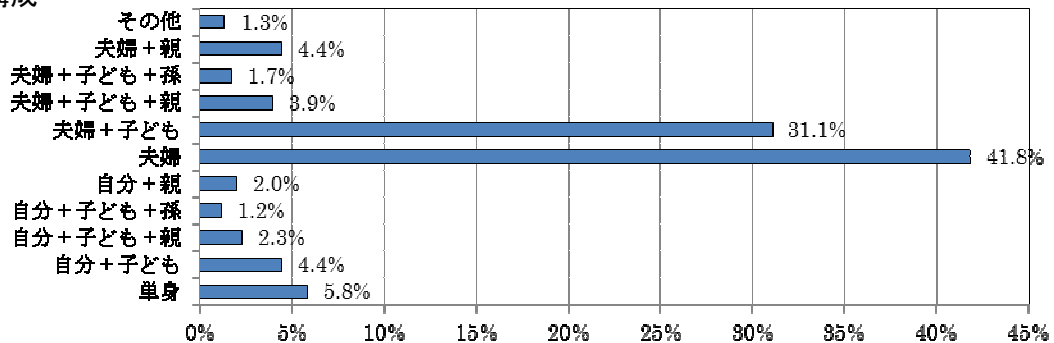
■ 性別



■ 年齢



■ 家族構成



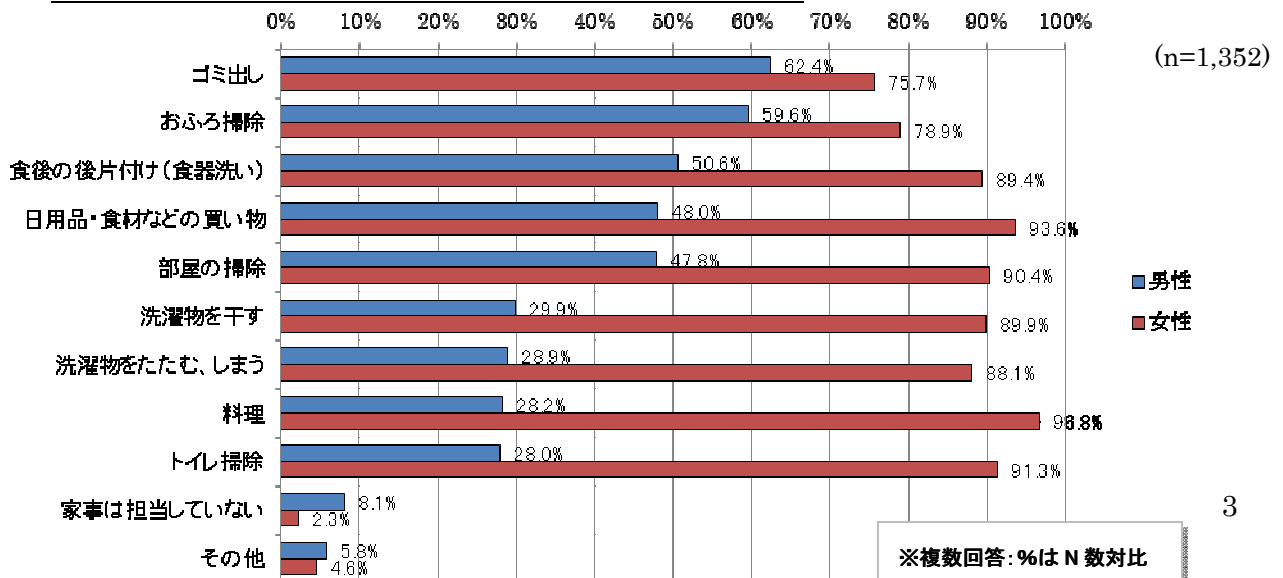
■ 男性の得意な家事は「お風呂掃除」、苦手は「料理」。女性の苦手は「部屋の掃除」

現在自分が担当している家事について聞いたところ、男性は1位「ゴミ出し」、2位「お風呂掃除」、3位「食後の後片付け(食器洗い)」となりました。一方女性は1位「料理」、2位「日用品・食材などの買い物」、3位「トイレ掃除」という回答になりました。

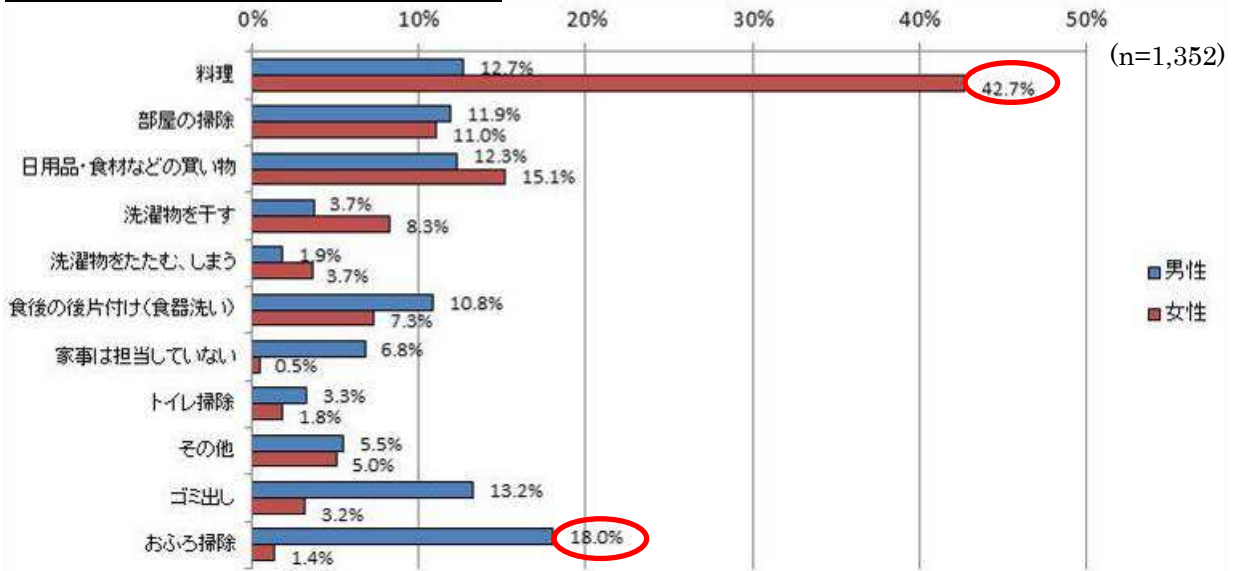
男性の最も得意な家事は「お風呂掃除」(18.0%)に対し、苦手な家事は圧倒的に「料理」(41.2%)が多くあげられました。一方で女性の最も得意な家事は「料理」(42.7%)に対し、苦手な家事は「部屋の掃除」(28.0%)となりました。

家事をサポートする家電に対する興味について、使ってみたい、またはすでに使っているものを質問したところ、男性トップは「自動でふろ掃除をする浴槽」に対し、女性トップは「自動でお部屋を自由に行き来してお掃除するロボット」となり、家事に対してサポート家電の導入も前向きな様子が見えがえました。

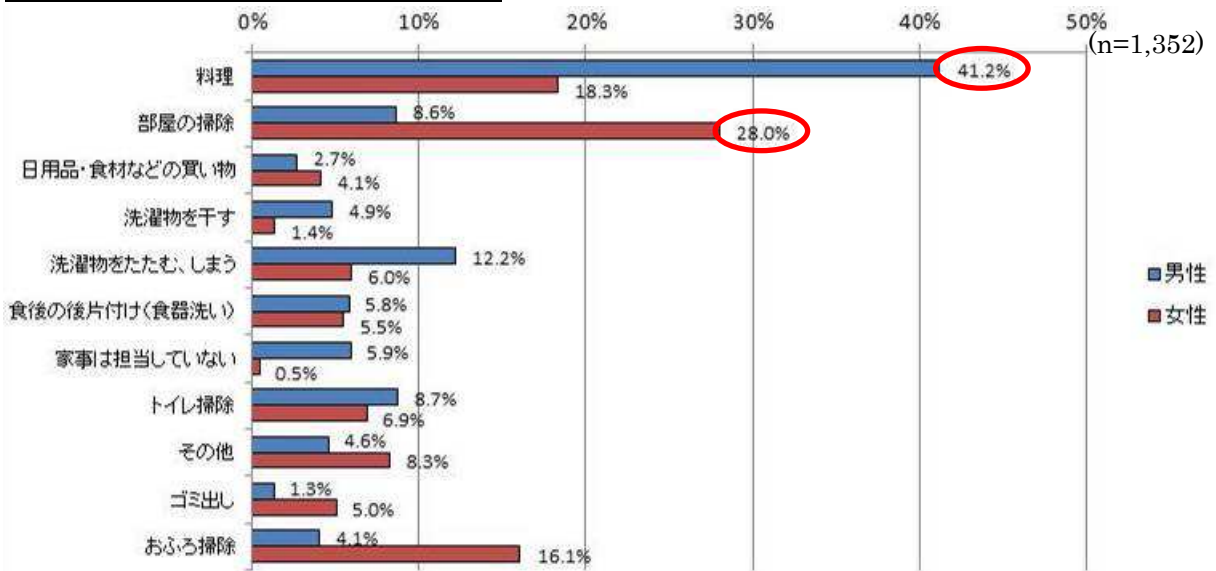
・あなたが主に担当している家事は何ですか？【複数回答可】



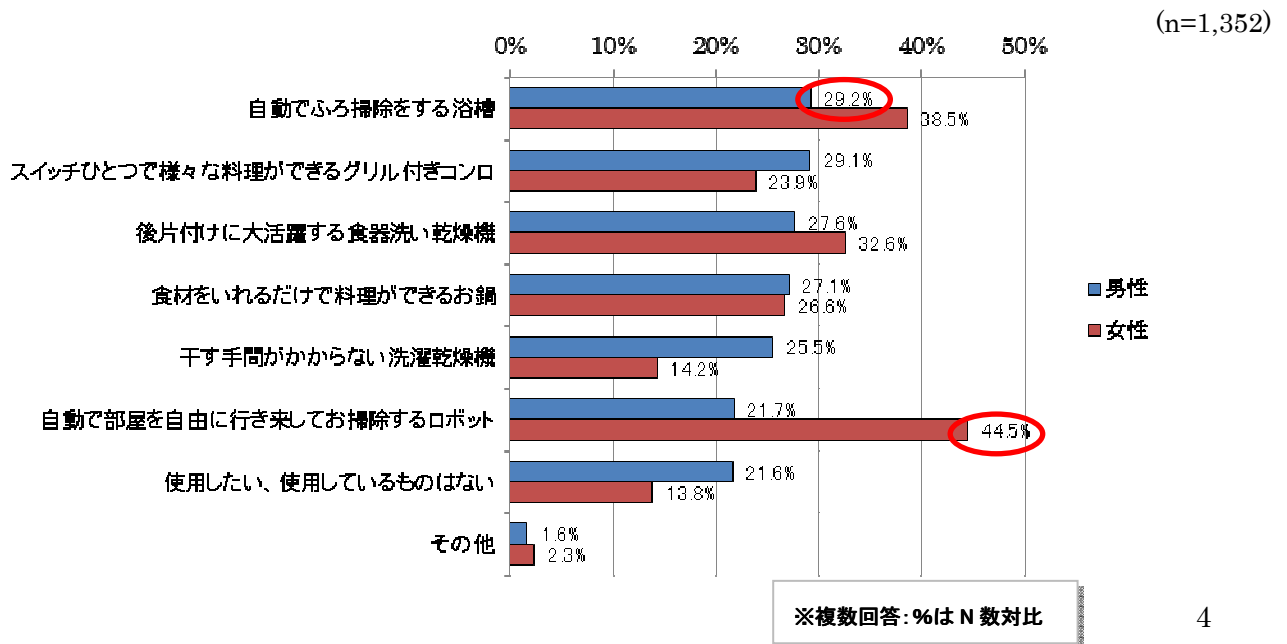
・あなたが最も得意な家事は何ですか？



・あなたが最も苦手な家事は何ですか？



・下記は家事をサポートする家電です。使用したいもしくはしているものはありますか？(複数回答可)

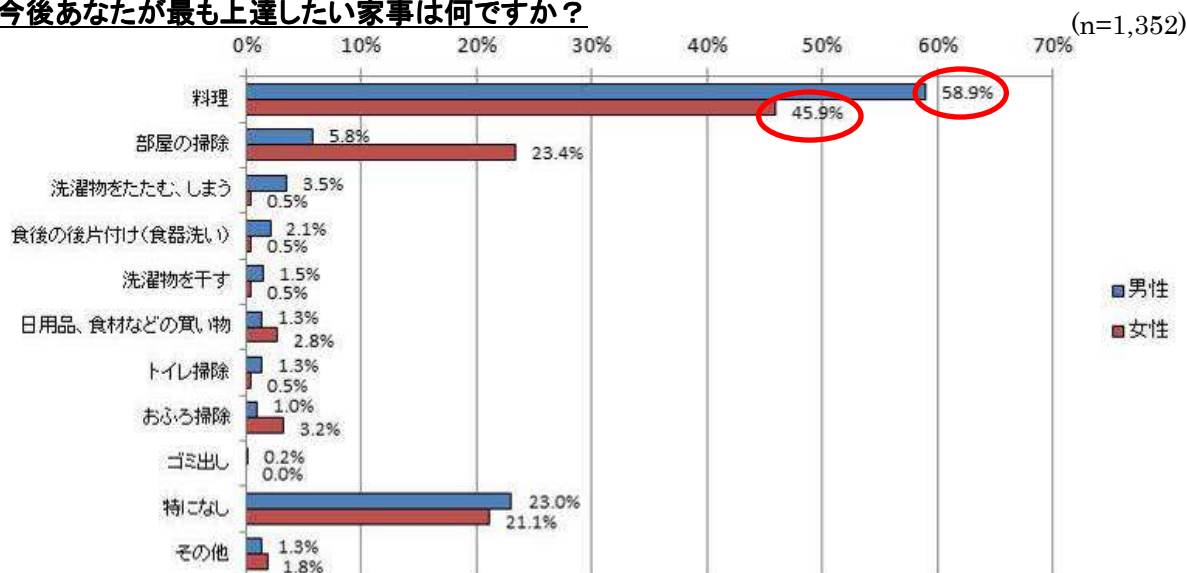


※複数回答: %は N 数対比

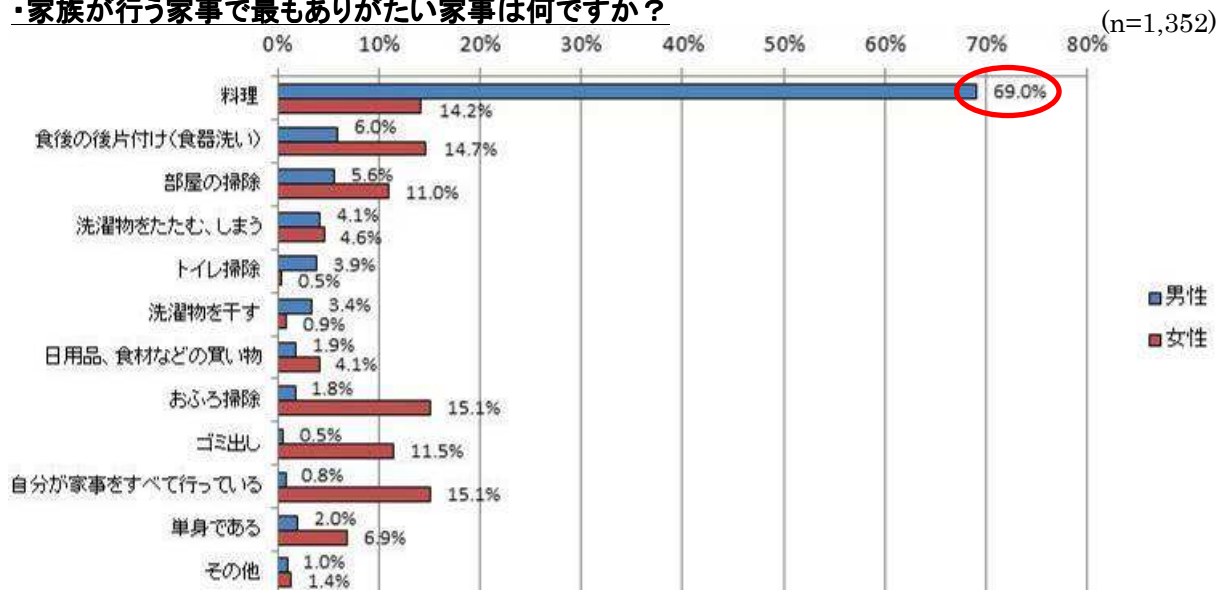
■さらに上達したい！男女ともに関心の高い家事は「料理」

今後最も上達したい家事について、男女共に「料理」がトップにあがり、女性は得意な分野でありながらも、「料理」はより上達したいという家事であることがわかりました。他にも、家族の担当する家事で最もありがたいものは？という質問でも「料理」が上位にあげられ、毎日の美味しい食事やだんらん、健康管理にもつながる料理は、男女ともに最も関心の高い家事であることがわかりました。

・今後あなたが最も上達したい家事は何ですか？



・家族が行う家事で最もありがたい家事は何ですか？



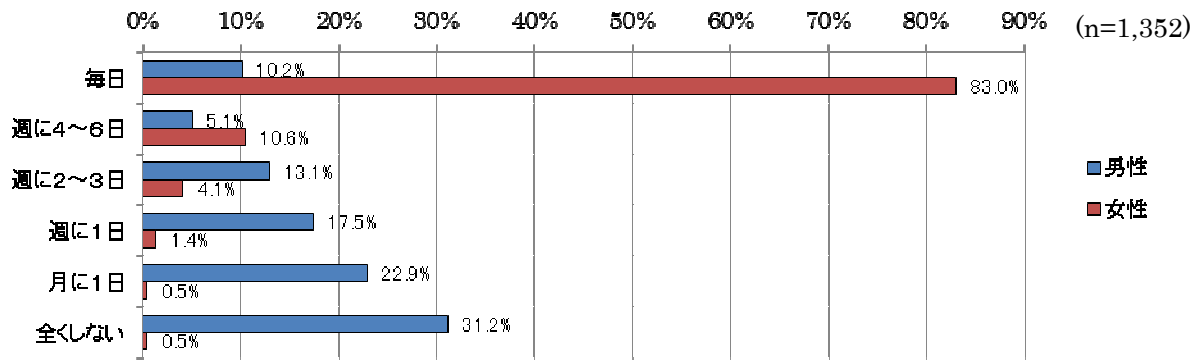
男性シニアの家事参加の第一歩におすすめは「料理」？

■ 日常メニュー、家飲み用のおつまみメニューなど一人の食事でも楽しめるメニューが人気。

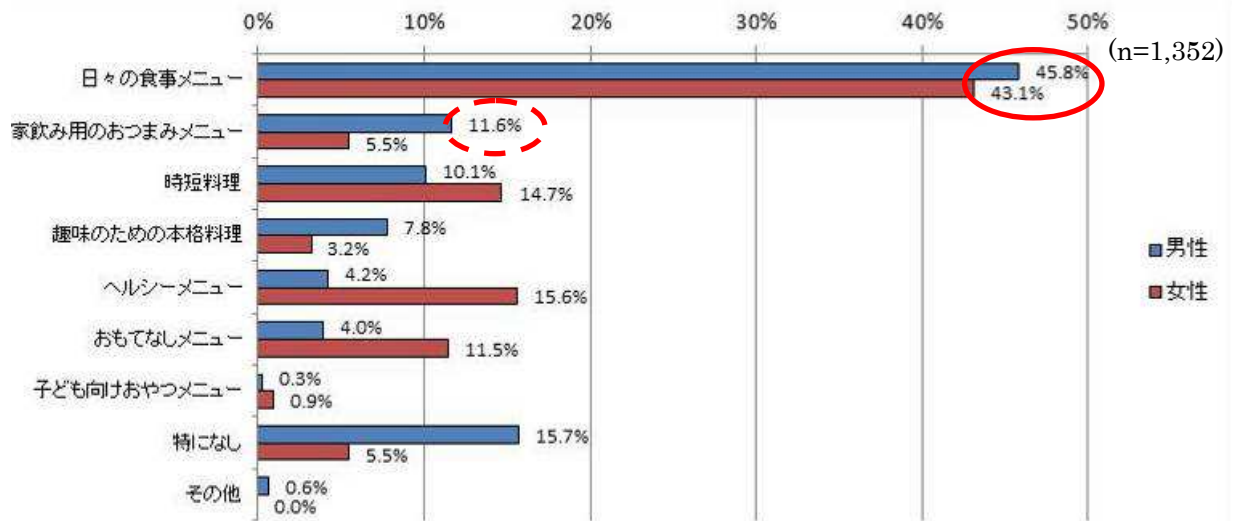
お料理をする頻度に関しては、女性は「毎日」(83%)が最も多く、男性は「全くしない」(31.2%)が最も多い結果となりました。

今後習得したい料理について聞いたところ、男女ともに「日々の食事のメニュー」がトップとなりました。特に男性では「家飲み用のおつまみメニュー」が上位にあがりました。晩酌時などに手軽に楽しめる料理のレパートリーを習得したいという要望もうかがえ、料理は今後の男性の家事参加のきっかけとしても取り入れやすい家事と言えるかもしれません。

・あなたが料理をする頻度は？



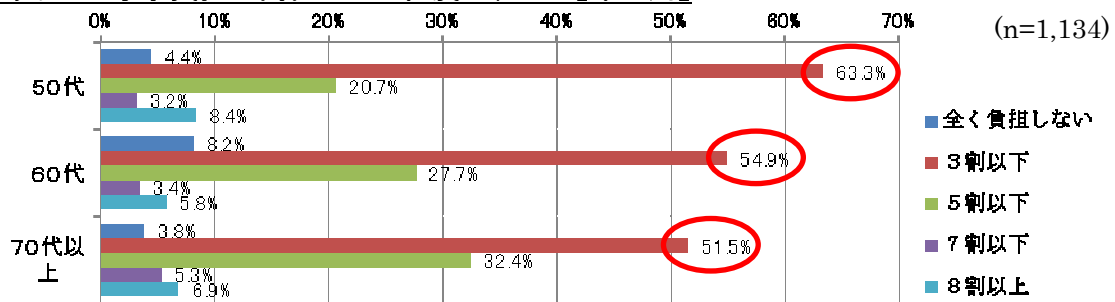
・あなたが最も習得したい料理はなんですか？



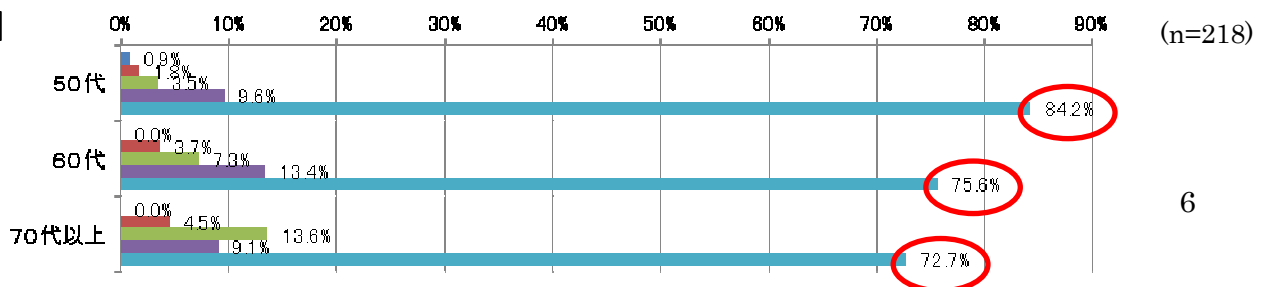
現代シニア世代の家事分担は、男性の負担率は全体的に低い現状はありますが、年代別にみると、年代が上がるごとに家事負担が3割以下の男性、8割以上の女性が減少しており、家事負担比率が年代によって変化しています。男性もリタイア後、長く生活をしていくうちに家事に慣れ、参加しやすくなるとも言えるかもしれません。今回の調査から、男性の家事参加に至らない理由としてもあげられている、経験の乏しさや自信のなさなどを解決し、参加をしやすいするための簡単なステップやきっかけ作りが重要であることがわかりました。

・あなたの家事負担の割合はどの程度ですか？【年代別】

【男性】



【女性】



次世代グリルを活用した、初心者でも安心・簡単 日常で役立つ 「シニアのそなえ“自立ごはん術”」体験・試食会を実施しました。

講師：牧野 直子先生 参加：一般シニア、メディア関係者

日時：2016年6月28日(火) 場所：ノーリツ 新宿プレゼンルーム

㈱ノーリツは、今回実施した「現代シニアの家事参加に関する実態調査」の結果を受け、シニア世帯の家事のきっかけやあらたな楽しみとしても注目される「シニアの料理」に焦点を当て、6月28日(火)に「シニアのそなえ“自立ごはん術”」と題し、西新宿の当社プレゼンルームにて、一般シニア参加者とメディア関係者にご参加いただき体験・試食会を実施しました。



イベントでは、アンケート調査の結果発表のほか、一般シニアにもご参加いただき、講師の管理栄養士で料理研究家の牧野直子先生より調理の実演を行い、完成した料理を全員で試食しました。

今回は、シニアの“自立ごはん術”として、①「簡単・安全」、②「健康」、③「応用が利く」の3つのポイントを重視した5品のメニューを調理しました。

＜メニュー＞ ミートローフ / ひと口鮭の照り焼き&ししとう塩焼き / コーンごはん
オクラとトマトのみそ汁 / ミルクくずもち

はじめてのシニア男性でも取り入れやすい、お味噌汁などの日常メニューから、1人の晩酌でも活躍するおつまみメニュー、お孫さんにも喜ばれる簡単スイーツレシピなど、調理のコツを分かりやすく実演しながら一般のシニアの方々もコンロ操作を体験しました。わずか50分で5品の料理が完成し、全員で試食。中でも人気だったのは、グリルで簡単に作れるミートローフ。切り分けて一人ごはんやお弁当、保存用にも重宝し、大人数で集まる際のメインディッシュとしても活躍できる一品を紹介しました。

参加者の男性 福澤 務さん(千葉県 79歳)からは、「グリルの自動調理には驚きました。料理に自信はないですがこれから練習して家族にもふるまいたいです。」と感想をいただきました。イベントの最後には、当社製品「PROGRE」「スマートコンロ」を紹介し、スマートフォン連動などの最新機能や「消し忘れ消火機能」や「焦げつき消火機能」などの安全を体験いただきました。旦那様と参加した女性 庄司 知榮子さん(東京都 76歳)からは「慣れない夫がコンロを使うと鍋を焦がすのではと心配でしたが、安全機能が充実して安心できることが発見できました。ご飯もコンロで美味しく炊けていて、家でも試してみたいです。」と感想をいただきました。

今後も当社では、シニアユーザーの利便性を意識した各製品の開発、イベントを実施してまいります。